契（ちぎり）通信VOL.211

２０２３年９月２９日発行
株式会社チキリ　社長室編集

処暑

これまで東京の猛暑日（３５℃以上）の年間日数は、昨年の１６日が最多でしたが、今年は９月２７日までで２２日もあり５日も増えました。また、真夏日（３０℃）の日数も、８９日でこれまでの記録（平成２２年）の７１日を大幅に更新中でまだ記録は伸びるかもしれません。

こんな記録的な暑さが続きますが、お彼岸を過ぎて朝晩だけですが、やっと涼しくなって参りました。まだまだ昼間は暑い日が続いているので、「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通りという訳にはいきませんが、熟睡できない熱帯夜からは解放されました。

そして、１０月から「インボイス」制度がスタートします。開始までもう一週間を切ったというのに、課税区分が変るお客様が居たり、振込手数料の処理が会社に依って違ったり、ネット販売のインボイス発行方法が各サイトで違ったりと、未だにどの様に対処したらよいのか決まらない事があります。きっと混乱すると思いますが、試行錯誤でやっていくしかありません。

代表取締役　服部厳一郎

なんだ・かんだ

◆　大気中のマイクロプラスチック　◆

5 年程前に海中に増え続けるマイクロプラスチックについて本紙に掲載しました。レジ袋やペットボトル等のプラスチックが紫外線や波で砕かれてできた 5㎜ 以下のごみ「マイクロプラスチック」が海中に漂い海底に堆積する中で、海中の有害物質が付着して 10 万～100 万倍に濃縮され、生態系に影響を与える可能性があり問題になっているという内容でした。現在随所でマイクロプラスチィックに関する海洋汚染の記事を目にする様になりました。

今回、海中だけでなく大気中にもマイクロプラスチックが浮遊し生態系への影響が懸念されるという話が、日経新聞に掲載されていました。

日本では早稲田大学の大河内博教授がこの問題の権威の様で、教授の研究グループは、富士山頂、富士山麓、丹沢大山山頂の 3 地点の雲に含まれる水を採取し分析したところ、マイクロプラスチックを合計 70 個、9 種類を確認し、雲の中にも存在することを野外観測で初めて確かめた。という内容の記事でした。

海の水が蒸発して雲ができるときに、マイクロプラスチックも混ざっていたと考えられるとのことです。雲の中にあるマイクロプラスチックがどの様に影響するのかはっきりしていないということですが、降雨量を増やしたり、日射量等にも関係する可能性もあるそうです。

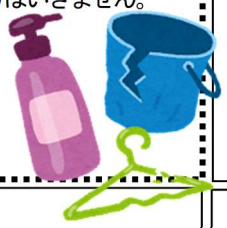
また、雨水として地上に降ったマイクロプラスチックが農産物等に取り込まれたり、大気中に飛散し呼吸と共に人体に入り込む可能性もあります。研究グループは実態の解明に向け詳細に調査して行くということですが、人間が吸い込んだ時どのような影響があるのか、石綿の様に人体に影響を及ぼし健康を害するものなのか、また体外へ排出され影響は無いものなか。今後調査を進め解明して行って欲しいと思います。

マイクロプラスチックの排出元となるものは、多くが道路とタイヤ摩耗により発生した塵だそうで、タイヤに含まれた酸化防止剤が変質し有害物質となり、これがマイクロプラスチックとして大気に飛散します。

ベランダや庭にプラスチック製品を放置すると紫外線で劣化が進み、マイクロプラスチックとして大気に飛散する可能性もあります。また、球場やサッカー場などで使われている人工芝にもゴムの充填剤を使用しているので、タイヤの摩耗塵同様劣化し有害物質をマクロプラスチックとして飛散する事が考えられます。

身近なところでは洗濯で使う柔軟剤があります。一回に使用する柔軟剤の量で、約 170 万個のマイクロカプセルが入っていて、洗濯排水として 130 万個ぐらいが流れていき、残りが衣類に付着しますが、最終的に衣類に残るのは 1 万個程度だそうで、それ以外は環境に飛散していくそうです。同じように化粧品や口紅、洗顔剤などにマイクロビーズが使われているそうで同じことが言えます。

言い出したらキリがありません。最も重要な対策はプラスチック使用を減らし元を絶つことだと思いますが、なかなかそうはいきません。エコバックを使うとか、ペットボトルは買わずに水筒を持って歩くなど草の根運動的な事しか思いつきません。あとは買ったプラスチック製品は、きちっと回収してリサイクルに回す。等捨てる際も正しく捨てること。でしょうか。



社員ブログ

●　娘の決心　●

総務部　荻野　容子

わが家の次女も中学 3 年生になり、今年は高校受験もありますが部活も最後の年となります。

中学校に入学してソフトテニスを始め、一生懸命練習に励み、その結果 1 年生の時から先輩たちと一緒に試合へ臨むチャンスをつかんで来ました。試合の度に相手の強さを痛感しては挫折して。時には、テニス経験ゼロの私や長女が練習相手となり頑張ってきました。

「中体連」最後の大きな試合に向けて、部活の仲間と一つでも勝利を掴もうと毎朝朝練に行ったり、休日は自主練に参加したり励んでいたのに。本番直前コロナ感染にて最後の試合への出場を断念。「このタイミング⁉」娘も、私も悔し過ぎてはじめて親子で涙しました。顧問の先生も電話口で一緒に泣いてくださり、本当に悔しい思いをしました。

そんな娘の気持ちを汲んでか、努力を理解して下さり、正式試合には出場できなかったけれど、本人の納得のいく結果で終わらせてあげたいという先生の強い想いから、改めて試合をセッティングしていただき、みんなで笑顔で引退する事ができました。

3 年間の集大成、100%満足とはいかないけれど努力は無駄じゃなかったと思います。今回経験した悔しい気持ちをバネに、次は受験に向けて勝利を掴みにいこうと宣言したわが家の次女です。

■　ポッドキャスト　■

最近、ポッドキャストにはまっています。数ある番組の中で「ＣＯＴＥＮ　ＲＡＤＩＯ」（古典ラジオ）という、和洋を問わず、古今東西の歴史について、歴史を愛し、歴史を知りすぎてしまった歴史フリーク達がトークしながら優しく・楽しく解説してくれる歴史インターネットラジオです。

中心になっている２人の歴史知識は半端ではありません。学校の授業では学べない歴史のおそらく真実を語ってくれます。５年前からやっているようですが、遡って聞いています。お勧めです。

本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思います。次回からの発送を中止させて頂きます。

株　式　会　社　チ　キ　リ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73
Tel 055-971-9610　Fax 055-973-1534
E-mail gen@chikiri.com　URL http://www.chikiri.com/